

校長室だより「伸びゆく梢」Ⅱ

文責 柴田町立船迫中学校 校長 三浦 道子

船迫中学校2年目になります。今年度も校長の目線から、生徒の活躍の様子や学校の様子を発信してまいります。コロナ感染症対策のためPTA総会は紙面開催となりましたが、授業参観は昨年のノウハウを生かして時間差で三密を避けた形で実施の運びとなりました。兄弟姉妹のいらっしゃるご家庭にはご不便をおかけいたしますが、本年度の学年の様子を見ていただければ幸いです。

校長室だよりの名前は校歌の3番に「風はかよい 羽山さやに

伸びゆく梢 ここ船迫」からいただきました。どうぞよろしく願いいたします。

2022年度の船迫中学校の学力向上

昨年の保護者アンケート・生徒アンケートは、高評価をいただいておりますが、以下の点のみが8割に届きませんでした。

- ①学校は子供たちの学力を高めていると思う。【保護者】 79%
- ②家庭学習に進んで取り組もうとしている。【生徒】 79%



他の項目の「子供を、現在の学校に通わせて良かったと思う。【保護者】93%」「学校生活は充実している。【生徒】96%」等と比較すると学習の項目だけが低いのです。よって、今年度は学力向上のための具体的な取組を考えています。まずは、以下の3点を紹介します。

その1 学習の心得の徹底

昨年までの「授業の約束」

- ① 授業の準備をする
- ② まずは自分で考える
- ③ 先生や友達に考えをはっきり伝える
- ④ みんなと協力して考える
- ⑤ 先生や友達の話をしっかり聞く

今年度の「学習の心得」

- ① チャイムの前に授業の準備をする
- ② 自分の考えを持ち、相手に伝える
- ③ 相手の話を聞き、自分の考えを広げる
- ④ 「学びが見える」ノートづくりをする
- ⑤ 授業で出された宿題に確実に取り組む

船迫中学校の生徒は、自分の考えを伝える力や協力して課題を解決する力は十分に付いてきたと感じています。今年度はさらに、自身で授業を振り返ることができる「ノートづくり」や、「宿題」を確実にやり通す力を付けたいと考えています。そのために各教科の先生方も授業づくりや宿題の出し方を工夫していきます。

その2 漢字検定・英語検定の受検機会の確保

数年前までは、船迫中学校を会場に行われていた検定ですが、受検人数がそろわない事もあったため中断していました。今年度から漢字検定2回、英語検定2回の実施を計画しました。

受検料もかかり、問題集の購入も必要になりますが、どちらの検定も高校受験のための学習につながりますし、検定取得は就職の際に有利となります。何よりも目標をもって学習することは楽しみになります。ぜひ、検定受検のお声がけをお願いします。

漢字検定	11月4日【金】	1月20日【金】	漢検受検料目安：4級2,500円
英語検定	10月7日【金】	1月13日【金】	英検受検料目安：4級2,900円

その3 学習に向き合う時間確保のためには「我が家のルールづくり」が大切

授業で習ったことを確実にするためには、記憶が薄れるまえに復習したり、宿題に取り組むことが大切です。そのためにはご家庭の協力が必要です。各教科毎にまとめた「家庭学習の進め方」は学年PTA資料にも掲載していますので、ご確認ください。ゲームやYouTubeやスマートフォン等の使用時間増加は、寝不足や依存症、集中力低下につながり、社会問題となっています。ご家庭でしっかりとルールを決めて、家庭学習時間を確保してください。そして、勉強しているお子さんを認め、温かい励ましをお願いします。それが意欲と学力の向上につながります。

P T A 資料として

受験生の学力向上のために、校長からも週末課題をだします。今、社会に求められている力は、自分の考えを持ち、自分の言葉で表現する力です。その一助となるよう、新聞記事を題材にこのようなプリントを準備し、私が添削して返却します。

小さな取組ですが、継続することによって「物事を深く考える力」「書かれてある内容を活用して書く力」が付いてきます。

ご家庭でも話題にして、親の目線でアドバイスしていただいても、お子様にとっては嬉しいかもしれません。ご協力をお願いいたします。